

3 交付実績

(件、千円)

項目	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
交付(見込み)件数	6	10	10	10
決算(予算)額	3,525	5,173	4,307	7,500
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
一般財源	3,525	5,173	4,307	7,500
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	区内商店街の空き店舗を活用して創業する方、文京区創業支援セミナーを受講後に区内で創業する方に対して、家賃助成及び専門家の訪問相談を行うことで、区内創業者の経営の早期安定化につながった。
課題	申請件数が10件(予算措置件数)以上の状態が続いている。
今後の方向性	創業支援セミナーや創業入門サロン事業の参加者も多く、コロナ禍においても起業への関心が高いと考えられることから、本事業による支援は必要である。今後も、商店会等の連携も含め、多くの創業者が本補助金を活用できるよう幅広く広く周知を行う。